

## 「未来塾2019 NPO 訪問ツアーin 県央

出会いと発見を仲間と一緒に、体験しませんか 軌跡を奇跡に～road to future～ 開催レポート

地域の多様な組織と連携し、勤労者の福祉向上を目指した広域な活動の展開ができる将来のリーダーを育成することを目的に、2013年度からはじまった「にいがた福祉リーダー塾」は、100名を超える卒業生を輩出しています。2016年から、「自分の思いを持ち寄り労働者自主福祉運動の未来を語る機会が欲しい」、「未来を語る講師を迎え新たな勉強がしたい」、「塾生同士で未来を語りあいネットワークを広げたい」との思いを持つ卒業生たちの期待に応え、「未来塾」を開催しています。彼ら卒業生による企画として「未来塾2019 NPO 訪問ツアーin 県央」を2019年10月19日（土）に開催しました。県内各地から18人が参加しました。



NPO 法人アビリティ燕の指定障がい福祉サービス事業所「トム・ソーヤ」にて、就労支援のスライド写真を見ながら、近藤理事長よりお話を聞いた。その後、隣接する喫茶つばめやにて、2Fの工房を見学し、1Fの喫茶にてランチを食べながらスタッフの方とも交流した。

### 【参加者アンケート】

- ・施設自体はお休みでしたが、写真から利用者の方達の生き生きとした働きぶりがわかりました。
- ・仕事をなくさないことが私達の仕事です。という言葉が印象的で、なるほどなと思いました。
- ・施設で製作した自主製品（ストール）の展示する場所の提供が目的で、喫茶つばめやを展開した。目的と手段の関係性が興味深く感じた。



全国でも珍しい資材保管（ストックヤード）にも取り組む NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワークの会田事務局長よりクロスロードゲームというワークショップを体験した。続いて、実際にストックヤードを見学。前日に台風19号の被災地2か所に向けてほとんどの資材を貸出していたため少なかったが、活発な質疑応答がなされた。

### 【参加者アンケート】

- ・災害ボランティア実践までの流れがよく理解できました。善意のおしつけではなく必要なものを必要なだけ送る。
- ・個々の意見にしっかり耳を傾けお互いを認め合うことが大切。ということがよくわかりました。
- ・「ボランティア活動そのものが支援なのではない」という言葉が印象に残りました。



NPO 法人えんがわの長野理事長より、三條市より受託している「ステージえんがわ」の設立経緯や取組事例などを伺った。その後、地域にある須藤風屋（いかや）より六角だこのワークショップを行った。同法人に在籍する地域おこし協力隊の「ハンドパン」演奏を楽しんだ後は、隣接する「三條スパイス研究所」について3月末まで地域おこし協力隊だった堀田さんより、お話を伺った。

#### 【参加者アンケート】

- ・ 価値をつくりだすってすごいなと思いましたし、非営利こそどうやって利益を出すのが大切だなと、そこに対するパッションがないといけないなと思いました。
- ・ 地元三條でこのような取組をしている団体があると知らなかったのが、驚きました。楽しいかつ地域のつながりが生まれるよい取り組みだなと思いました。



最後は、「三條スパイス研究所」にて交流会を行った。オードブル形式で、参加者は珍しいスパイス料理の数々を楽しんだ。全体を通じて、参加者アンケートからは「企業の立場でNPO団体への協力の面についてもっとよく知りたいと思いました」「今回のツアーの内容を参加できなかった人にもくわしく知らせるようにしたい」という感想もあり、継続を望む声が多く寄せられた。